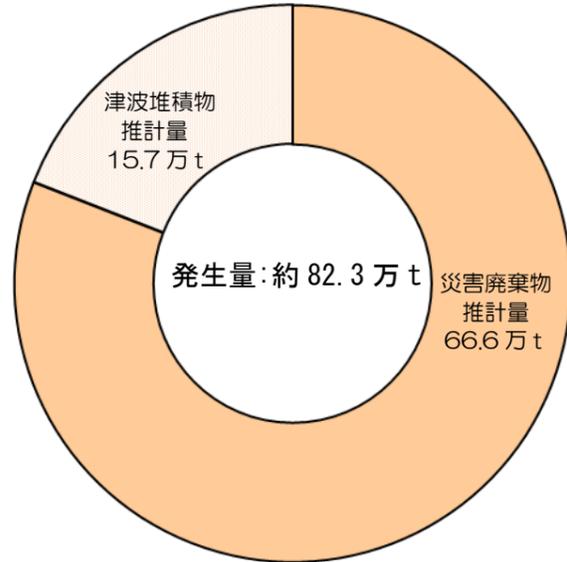


# 東日本大震災に伴う災害廃棄物等の処理状況について

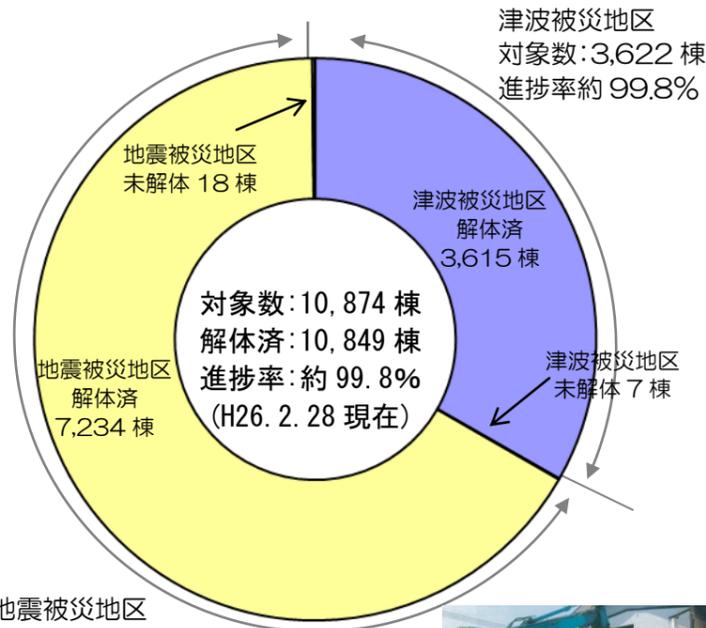
## I 発生 災害廃棄物等推計量：約 82.3 万 t

【図1 発生量推計】



○災害廃棄物…地震により発生したガレキ等  
○津波堆積物…津波により発生した土砂等

【図2 損壊家屋等の解体撤去状況】



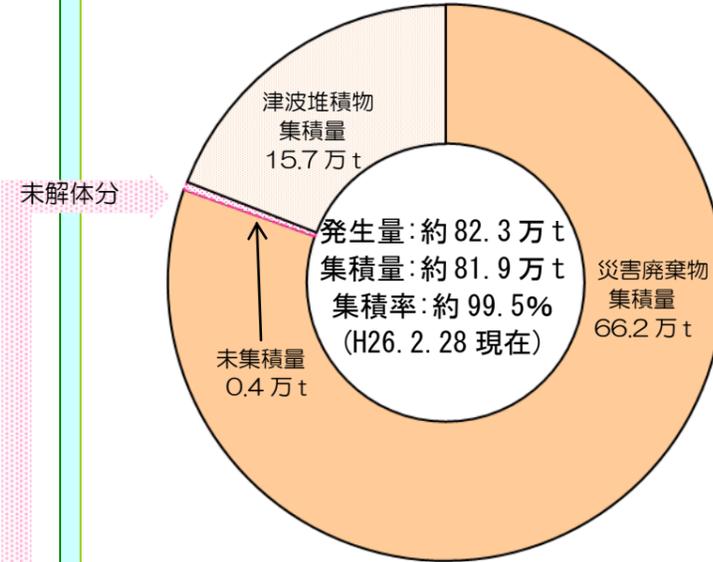
地震被災地区  
対象棟数：7,252 棟  
進捗率約 99.8%

※上記には、残置基礎解体撤去含む



## II 集積 累積集積量：約 81.9 万 t (平成 26 年 2 月末現在)

【図3 仮置場への集積状況】



未解体分

【図4 仮置場の状況】

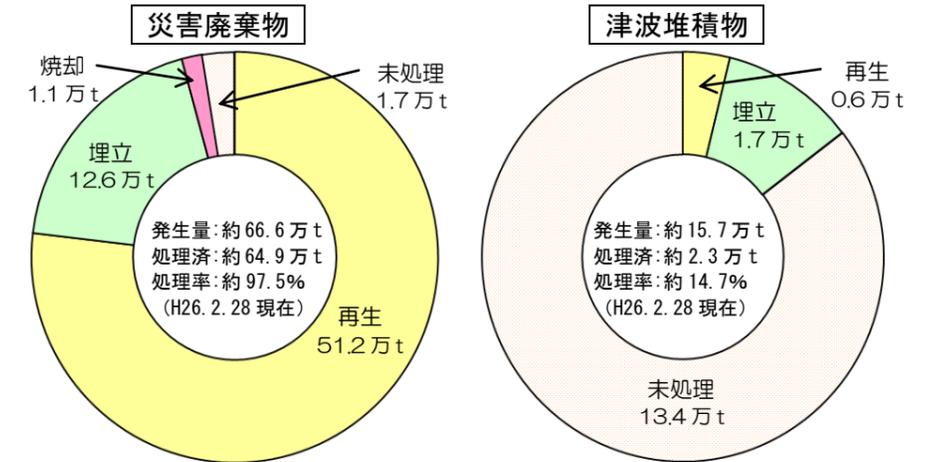
仮置場数 19ヶ所

新舞子ハイツ(H23.12)  
新舞子ハイツ(H25.8)  
振動ふるい機  
ふるい分け後の土砂

○7ヶ所が処理完了し、うち5ヶ所について、整地等原状復旧を終え閉鎖済み。

## III 処分 処理済量：約 67.2 万 t (平成 26 年 2 月末現在)

【図5 災害廃棄物等の処理状況】



《再生利用》  
《焼却処理》  
《埋立処分》

〔種別〕  
・コンクリート類  
・木くず類  
・廃プラスチック類  
・金属類 等

〔種別〕  
・可燃物

〔種別〕  
・ボード類、瓦 等

津波堆積物ふるい分け後の土砂類については、県防災緑地整備の資材として再生利用を図る。

【図6 被災3県の沿岸市町村災害廃棄物等の処理状況】

